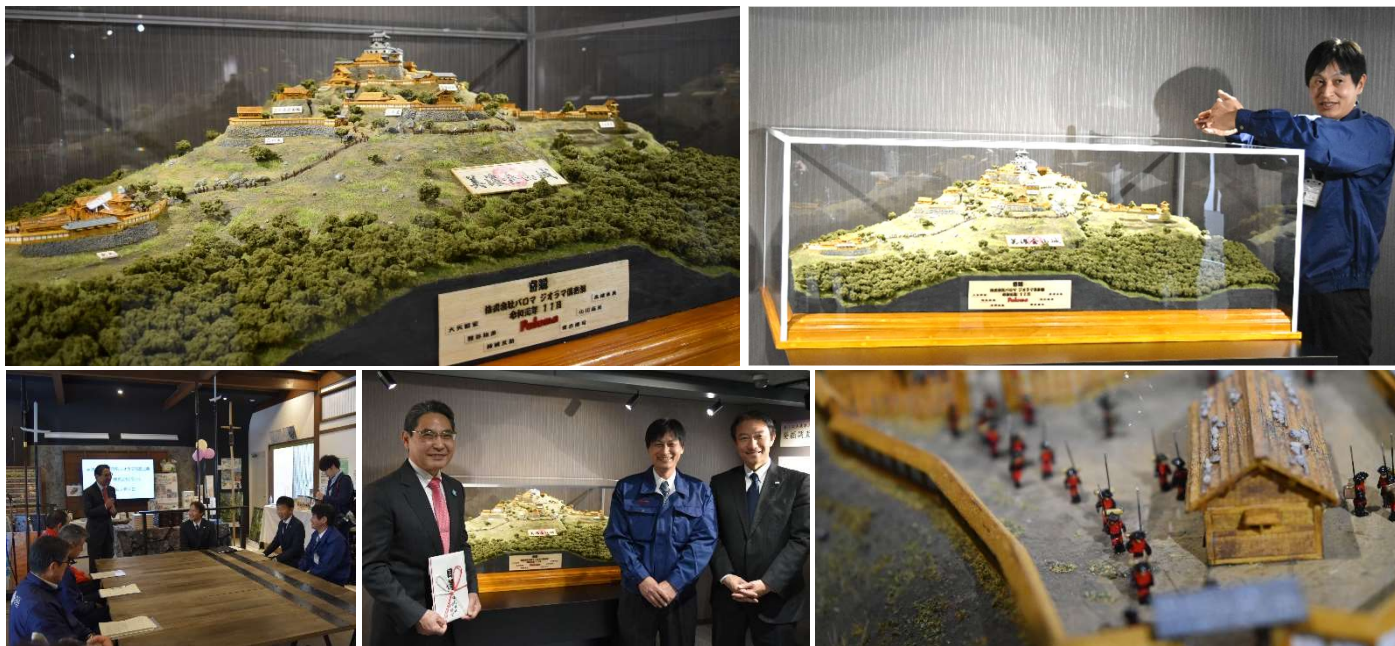


岐阜県可児市へ「美濃金山城再現ジオラマ」を寄贈

久々利城ジオラマに続き第2弾。パロマジオラマ倶楽部が延べ1,000時間をかけて制作。

株式会社パロマ（愛知県名古屋市/代表取締役社長執行役員：中島真也）は、岐阜県可児市へ「美濃金山城再現ジオラマ」を寄贈しました。これは2018年に同市へ寄贈した「久々利城再現ジオラマ」に続いて2作目で、社内の課外活動「パロマジオラマ倶楽部」メンバーの6人が約1年2か月、延べ1,000時間をかけて制作したものです。



2月7日（金）に可児市観光交流館で行われた寄贈式典では、可児市の富田成輝市長へ目録を贈呈しました。富田市長から「久々利城に続いて2作目。山城保全への協力にも感謝しています。地元、企業、行政が一緒になっていることが評価を受けている。心から感謝申し上げます」と挨拶がありました。

その後、隣接する可児市戦国山城ミュージアムへ移動し、寄贈したジオラマを前に、パロマジオラマ倶楽部代表の大矢昭宏（大口工場 職長）より解説を行いました。「前回の久々利城ジオラマを寄贈した際に、『ぜひ美濃金山城のジオラマを』とリクエストをいただいて制作を開始しました。そこに暮らす人々の会話が聞こえるようなジオラマを目指して、250分の1で再現したジオラマは、これから戦に向かうシーンを再現。足軽は300人以上、木々は900本以上をメンバー6人で力を合わせて手作業で作りました。天守は犬山城に移築されたとする文献を参考に、国宝犬山城に似せて“夢の美濃金山城”として制作しました。子どもたちの教育資料としても活用していただけたら嬉しいです。可児市の魅力を全国に発信する一助となれば光栄です」と挨拶しました。

◆可児市とパロマ◆ 岐阜県可児市にある中世の山城跡「久々利城跡」の土地所有権の一部をパロマが有することをきっかけとし、2015年2月に可児市、元久々利まちづくり委員会、パロマの間で「久々利城跡の整備・活用に関する協定」を締結。地元の久々利城守隊の方々を中心に進められてきた整備を支援してまいりました。こうした活動は2019年の都市景観大賞で国土交通大臣賞を受賞しました。可児市にはパロマ可児工場もあります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社パロマ 広報室 : 052-824-5251 (直通)

内容は発表時のものです。ご覧になった時点で、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。